令和3年(2021年)7月14日 第12回都市経営会議資料 上下水道局 経営管理部 経営企画課

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し(案)及び宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し(案)に係るパブリック・コメントの実施結果について(報告)

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し及び宝塚市下水道事業経営戦略中間見直しの策定にあたり、令和3年(2021年)3月11日の都市経営会議を経て、パブリック・コメントによる意見募集を実施しました。

実施結果及び公表方法については下記のとおりです。

記

- 1 パブリック・コメントの実施結果
- (1) 募集期間 令和3年(2021年)4月1日(木)から令和3年(2021年)4月30日(金)まで
- (2) 意見提出者数

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し 5人 宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し 3人

(3) 提出意見数

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し 14件 宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し 8件

(4) 中間見直し(案)に反映した意見数

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し 2件 宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し 1件

(5) パブリック・コメント手続き以外(審議会)での修正内容(令和2年度(2020年度)の決算整理を行ったことによる修正)

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し 5件 宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し 4件

- 2 寄せられた意見と市の考え方 別添のとおり
- 3 結果の公表
- (1) 公表期間 令和3年(2021年)7月19日(月)から 令和3年(2021年)8月19日(木)まで
- (2) 公表方法 ・広報たからづか 7 月号、市ホームページ掲載
 - ・上下水道局経営企画課、市民相談課、各サービスセンター・サービス ステーションで配布

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し(案)及び宝塚市下水道事業経営 戦略中間見直し(案)への意見と市の考え方の公表について

宝塚市上下水道局は、「宝塚市水道事業経営戦略中間見直し(案)」及び「宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し(案)」の内容等について広く公表し、市民の皆様からの意見を反映するため、意見募集(パブリック・コメント手続)を実施しました。その結果、市民の皆様から次のとおり意見をいただきましたので、意見の内容とそれに対する市の考え方を公表します。この度は、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 意見募集の内容(概要)

「宝塚市水道事業経営戦略中間見直し」及び「宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し」とは、平成28年(2016年)12月に策定した「宝塚市水道事業経営戦略」及び「宝塚市下水道事業経営戦略」について、策定から4年が経過し、幾つかの計画値と実績値の間に乖離が生じていることや、事業を取り巻く環境が変化していること等を踏まえ、見直しを行うものです。この見直し(案)に対し、意見を募集しました。

2 意見の募集期間 ※募集期間は終了しました。

令和3年(2021年)4月1日(木)から 令和3年(2021年)4月30日(金)まで

3 意見募集の実施結果

(1) 意見の提出者数

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し 5人 宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し 3人

(2) 提出意見数

宝塚市水道事業経営戦略中間見直し 14件 宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し 8件

(3)中間見直し(案)に反映した意見数 宝塚市水道事業経営戦略中間見直し 2件 宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し 1件

詳細は、「水道事業経営戦略中間見直し(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表及び「下水道事業経営戦略中間見直し(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表のとおり

(4) パブリック・コメント手続以外での修正内容

詳細は、「水道事業経営戦略中間見直し(案)」に対するパブリック・コメント手続き以外での修正内容一覧表及び「下水道事業経営戦略中間見直し(案)」に対するパブリック・コメント手続き以外での修正内容一覧表のとおり

4 実施結果の公表期間

令和3年(2021年)7月19日(月)から 令和3年(2021年)8月19日(木)まで

5 実施結果の公表方法について

パブリック・コメントの実施結果及び意見を反映した「宝塚市水道事業経営戦略中間見直し」及び「宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し」の概要版・本編は、市ホームページ及び市の窓口にて公表しています。

- ① 市ホームページ (http://www.city.takarazuka.hyogo.jp)
 - ・上下水道局経営企画課ページ
 - ・トップページから「経営戦略」で検索するか、 または「検索用 ID: 1016073」を入力し検索す ることもできます。



二次元コード

- ② 市の窓口
 - ・上下水道局経営企画課(上下水道局仮設庁舎1階)、市民相談課、各 サービスセンター・サービスステーションで公表しています。

6 問い合わせ先

〒665-0032 宝塚市東洋町1番3号

「宝塚市上下水道局経営管理部経営企画課」

電話番号

0797 - 77 - 2104

ファクシミリ

0.797 - 72 - 5381

電子メールアドレス m-takarazuka0290@city.takarazuka.lg.jp

「水道事業経営戦略中間見直し(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

○ご意見ありがとうございました。

- ・意見の募集期間 令和3年 (2021年) 4月1日 (木) ~令和3年 (2021年) 4月30日 (金)
- ・意見の提出件数 14件

※ページ・行は本編のページ・行を記載しています。

No.	項目	ページ	行	市民等からのご意見	市民等からのご意見の採否及び理由	市民等からのご意見を 受けての見直し結果
1	計画全般に関すること	-	-	経費削減が盛り込まれ、一定評価ができる。	【ご意見ありがとうございました】経営健全化の取 組を着実に実行するよう努めます。	
2	計画全般に関すること	-	_	人件費の削減が最重要課題であり、局全体での適正配置を検討すべき。	【ご意見ありがとうございました。原案のとおりとしますが、今後の経営の参考とさせていただきます】今後も、適正な人員配置に努めます。	
3	計画全般に関すること	-	-	WITHコロナ、AFTERコロナに関して追記すべき。	【ご意見ありがとうございました。原案のとおりとしますが、今後の経営の参考とさせていただきます】WITHコロナにつきましては、計画期間前期の「収益的収支」の検証において、基本料金の減免等について記述しています。AFTERコロナにつきましては、現段階では影響の規模や期間を見込むことが困難であるため記載していませんが、動向を注視します。	
4	計画全般に関すること	-	-	料金改定の必要性についてもっと切実な問題として明記すべきであり、経営健全化について努力できる戦略として欲しい。早期の改定を行わないのは、後世につけを残すのみで無責任である。	おり修正いたします】経営健全化の取組を着実に実 行するよう努めます。しかし、それらをすべて実行 したとしても厳しい経営状況が見込まれているた め、早期の料金改定が必要であると認識していま	
5	計画全般に関すること	-	-	水需要の減少はミネラルウォーターなどを購入している人が多いからではないか。また、大量に水を使用する企業などを誘致する様に市に働きかけるべきではないか。	しますが、今後の経営の参考とさせていただきま	
6	計画全般に関すること	=	П	昭和55年から値上げをしないで頑張ってきたということをアピールすべき。	おり修正いたします】ご意見の主旨を文章で記載し ます。	第7章のまとめに次の文章を追加します。「なお、水道料金の値上げの改定は、昭和55年度(1980年度)以降実施していません。」
7	経営健全化の取組に関する こと	8	9	小浜・惣川浄水場夜間等運転管理委託業務については 早急に着手すべき。	しますが、今後の経営の参考とさせていただきます】計画のとおりに実施できるよう努めます。	
8	経営健全化の取組に関すること	9	3	すでに廃止されている小林・亀井浄水場の跡地の活用 策について早急に結論を出すべき。	【ご意見ありがとうございました。原案のとおりとしますが、今後の経営の参考とさせていただきます】跡地の利活用について、引き続き検討を行い、出来るだけ早期にその方向性を出す考えです。	

No.	項目	ページ	行	市民等からのご意見	市民等からのご意見の採否及び理由	市民等からのご意見を 受けての見直し結果
9	経営戦略策定後に生じた 変化に関すること	14	11		しますが、今後の経営の参考とさせていただきます】ご指摘のとおり認識しています。計画のとおりに実施できるよう努めます。	
10	財政収支に関すること	18	23	赤字が続き、今後も赤字の見込みであり、経営が大丈夫か心配する。	【ご意見ありがとうございました。原案のとおりとしますが、今後の経営の参考とさせていただきます】計画期間後期において経営健全化の取組を着実に実行することが重要と考えています。	
11	財政収支に関すること	18	24		【ご意見ありがとうございました。原案のとおりとしますが、今後の経営の参考とさせていただきます】料金改定につきましては、内部で十分に検討するとともに宝塚市上下水道事業審議会に諮り、実施にあたっては広報紙や市ホームページなどを活用して説明を行います。	
12	財政収支に関すること	18	24		【ご意見ありがとうございました。原案のとおりとしますが、今後の経営の参考とさせていただきます】料金の見直しにあたっては、その必要性や、改定する場合は時期・改定率なども含めて宝塚市上下水道事業審議会で十分な検討・審議をいただく考えです。	
13	料金改定率の試算に関すること	19			しますが、今後の経営の参考とさせていただきま	
14	料金改定率の試算に関すること	19	1			

「下水道事業経営戦略中間見直し(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

○ご意見ありがとうございました。

- ・意見の募集期間 令和3年(2021年)4月1日(木)~令和3年(2021年)4月30日(金)
- ・意見の提出件数 8件

※ページ・行は本編のページ・行を記載しています。

***	ージ・行は本編のページ・行を					
No.	項目	ページ	行	市民等からのご意見	市民等からのご意見の採否及び理由	市民等からのご意見を 受けての見直し結果
1	計画全般に関すること	=	=	経費削減が盛り込まれ、一定評価ができる。	【ご意見ありがとうございました】経営健全化の取 組を着実に実行するよう努めます。	
2	計画全般に関すること	-	=	人件費の削減が最重要課題であり、局全体での適正配 置を検討すべき。	しますが、今後の経営の参考とさせていただきます】今後も、適正な人員配置に努めます。	
3	計画全般に関すること	-	-		【ご意見ありがとうございました。原案のとおりとしますが、今後の経営の参考とさせていただきます】WITHコロナにつきましては、計画期間前期の「収益的収支」の検証において、基本料金の減免等について記述しています。AFTERコロナにつきましては、現段階では影響の規模や期間を見込むことが困難であるため記載していませんが、動向を注視します。	
4	計画全般に関すること	-	-			
5	財政収支に関すること	15	2		おり修正いたします】他会計補助金を今後も一定額受け取ることができれば、令和10年度(2028年度)までに借入金を全額返済できると見込んでおり、返済を予定した借入となっています。	度) から令和10年度(2028年度) までに借入金を返済し」を次のとおり
6	財政収支に関すること	15	12	下水道事業の現状を訴えて、補助金の確保に努めてほしい。	【ご意見ありがとうございました。原案のとおりとしますが、今後の経営の参考とさせていただきます】他会計補助金の額により今後の経営が大きく左右するため、他会計補助金を一定額確保できるかどうかは最重要の課題と考えています。	
7	下水道使用料のあり方に関すること	16	1		しますが、今後の経営の参考とさせていただきま	

No.	項目	ページ	行	市民等からのご意見	市民等からのご意見の採否及び理由	市民等からのご意見を 受けての見直し結果
8	下水道使用料のあり方に関すること	16				

「水道事業経営戦略中間見直し(案)」に対するパブリック・コメント手続き以外での修正内容一覧表

- ・パブリック・コメント実施後に、以下のとおり修正しました。
- ページは本編のページを記載しています。

No.	ページ	項目	修正前	修正後	意見区分	修正理由
1	3	第2章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	
2	4	第3章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	
3	5	第4章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	令和2年度の決算整理が完了 し、決算見込額に変更が生じた ため。
4	15 · 16	第7章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	
5	19	第8章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	

「下水道事業経営戦略中間見直し(案)」に対するパブリック・コメント手続き以外での修正内容一覧表

- ・パブリック・コメント実施後に、以下のとおり修正しました。
- ページは本編のページを記載しています。

No.	ページ	項目	修正前	修正後	意見区分	修正理由
1	3	第2章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	
2	4	第3章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	令和2年度の決算整理が完了 し、決算見込額に変更が生じた
3	5	第4章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	ため。
4	11 • 12	第7章	(決算整理前の金額)	(決算整理後の金額)	1 職員 2 所管課 3 その他(審議会)	

宝塚市水道事業経営戦略 中間見直し

概要版

令和3年(2021年)7月 宝塚市上下水道局

目次

第1章	見直しの趣旨	• • •	• • •	• •	• •	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	1
第2章 (1) (2) (3)	計画期間前期の 収益・費用 ・ 給水収益 ・・ 投資 ・・・・	「収益 ・・・ ・・・	・費用 ・・・ ・・・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	の検 ・・ ・・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	• •	•		• •		•	•	2 2 2 3
第3章 (1) (2)	計画期間前期の 計画期間前期の 計画期間後期の	実績		で取 ・・ ・・	· A.	の検 ・・	· •	と後 ・・	· •	の! ・ ・	見込 • •	・ ・	•		4 4 5
第4章 (1) (2)	経営戦略策定後 水道法の改正 上下水道局新庁				• •		•		•		• •	•	•		6 6
第5章 (1) (2)	財政収支計算表 収益的収支 ・ 資本的収支 ・				• •				•		• •	•	•		7 7 7
第6章 (1) (2)	総括原価方式に 試算の条件 ・ 改定率の試算	よる料 • • •	·金改定 • • • •	 率の ・・	就算 • •	i				•	 				1 0 1 0 1 0
第7章	今後の課題 ・												•		1 1

第 1 章 見直しの趣旨

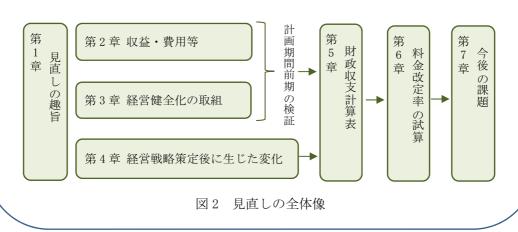
平成28年(2016年)12月に策定した宝塚市水道事業経営戦略(以下「経営戦略」という。)について、策定から4年が経過し、幾つかの計画値と実績値との間に乖離が生じていることや水道事業を取り巻く環境が変化していること等を踏まえ、見直しを行います。水道事業は「今後、水需要が減少するにもかかわらず、投資額が増大する」という大きな課題に直面しています。人口推計等から試算すると、下図のとおり給水収益はこの50年で約13億円減少する見込みです。このような状況で安定的に事業を継続するために、見直しは不可欠です。



図1 給水収益の推移

○ 見直しの流れ

今回の見直しでは、下図のとおり、計画期間前期の収益・費用等について検証した後、財政計画を下支えする「経営健全化の取組」について計画期間前期の検証を行い、経営戦略策定後に生じた変化を加えて、計画期間後期の財政収支を見込みます。また、それらを基礎として、料金改定率を試算するとともに、宝塚市の水道事業の今後の課題を示します。



第2章 計画期間前期の「収益・費用」等の検証

計画期間前期の収益・費用等(平成28年度(2016年度)から令和元年度(2019年度)までは決算値、令和2年度(2020年度)は決算見込値)について検証します。表題に付されている括弧書きの数字は、経営戦略の該当頁を示しています。なお、計画期間後期の見込額については、第5章に記載しています。

(1) 収益・費用(20)

経営戦略では平成28年度(2016年度)から令和2年度(2020年度)までの合計で989,173 千円の経常損失が生じる見込みでしたが、実際は302,731千円の経常損失となり、損失が686,442千円減少する結果となりました。投資額が経営戦略に満たなかったことにより(支払利息はそれに加えて利率が経営戦略よりも低かったことにより)、減価償却費及び支払利息の実績が経営戦略と比べて減少(減価償却費329,621千円減、支払利息418,805千円減)し、損失が減少しました。

① 経常収益 (千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	4, 512, 765	4, 357, 810	4, 365, 318	4, 365, 378	4, 346, 402	21, 947, 673
実 績	4, 370, 275	4, 422, 779	4, 470, 210	4, 326, 549	4, 099, 862	21, 689, 675
差額	△142, 490	64, 969	104, 892	△38, 829	△246, 540	△257, 998

② 経常費用 (千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	4, 384, 045	4, 674, 347	4, 632, 018	4, 610, 040	4, 636, 396	22, 936, 846
実 績	4, 085, 451	4, 386, 274	4, 592, 066	4, 540, 482	4, 388, 133	21, 992, 406
差額	△298, 594	△288, 073	△39, 952	△69, 558	△248, 263	△944, 440

(2) 給水収益(20)

計画期間前期の給水収益の実績は、ほぼ経営戦略どおり推移しました。なお、令和2年度(2020年度)に実績が大きく減少しているのは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市民生活等を支援するため、4カ月間の基本料金の減免を行ったためです。

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	3, 516, 111	3, 517, 829	3, 524, 134	3, 531, 811	3, 518, 751	17, 608, 636
実 績	3, 524, 138	3, 535, 035	3, 523, 169	3, 526, 658	3, 101, 772	17, 210, 772
差額	8, 027	17, 206	△965	△5, 153	△416, 979	△397, 864

(3)投資

令和元年度までは阪神水道企業団からの受水事業を中心に事業を行ったため、計画期間前期の投資額は経営戦略の数値を 2,788,229 千円下回る結果となりました。計画期間後期に事業実施体制の強化を図り、投資計画指標の目標達成に努めます。

① 施設・設備の耐震化費用(7)

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	187, 000	157, 000	100,000	100,000	100,000	644, 000
実 績	8, 130	0	0	0	232, 624	240, 754
差	△178, 870	△157, 000	△100,000	△100,000	132, 624	△403, 246

② 施設・設備の更新費用(7)

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	439, 774	190, 000	630, 000	630, 000	630,000	2, 519, 774
実 績	227, 106	177, 859	161, 673	782, 488	360, 166	1, 709, 292
差	△212, 668	△12, 141	△468, 327	152, 488	△269, 834	△810, 482

③ 管路の更新費用 (8)

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	270,000	270, 000	920, 000	920, 000	920, 000	3, 300, 000
実 績	119, 222	141, 317	171, 473	588, 503	704, 984	1, 725, 499
差	△150, 778	△128, 683	△748, 527	△331, 497	△215, 016	△1, 574, 501

用語の説明

経常収益・・・・営業収益と営業外収益の合計額

経常費用・・・・営業費用と営業外費用の合計額

経常損失・・・・経常収益から経常費用を控除した額

給水収益・・・・水道料金として収入する額

第3章 計画期間前期の「経営健全化の取組」の検証と後期の見込み

経営健全化の取組について、計画期間前期の実績額(平成28年度(2016年度)から令和元年度(2019年度)までは決算額、令和2年度(2020年度)は決算見込額)を算定し、その結果に基づいて計画期間後期の効果額を見直します。なお、表題に付されている括弧書きの数字は、経営戦略の該当頁を示しています。括弧書きの数字のない項目は新たに追加した項目です。

(1)計画期間前期の実績

計画期間前期の実績について、経営戦略で2,570,554 千円を見込んでいた効果額は、「小林・亀井浄水場跡地活用」及び「小浜・惣川浄水場夜間等運転管理委託」が実施できていないこと等により、合計で1,275,793 千円下回り、1,294,761 千円となりました。上段は経営戦略の金額、下段は実績額を記載しています。

(千円)

取組項目	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
職員配置の見直し	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632	28, 160
技術職員配置の見直し	-	_	16, 000	32,000	32, 000	80,000
投州戦貝配直の兄直し	_	_	9, 010	9,010	36, 040	54, 060
水道配水施設管理業務委託	800	800	800	800	800	4,000
<u> </u>	3, 167	2,804	2,804	2, 804	2, 804	14, 383
生瀬浄水場完全委託	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
土烟伊小物元王安託	3, 819	3, 819	3, 819	3, 819	3, 819	19, 095
包括委託拡大	-	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000
已怕安癿加八	-	9, 592	9, 592	9, 592	9, 592	38, 368
小浜・惣川浄水場夜間等運		17, 255	17, 255	34, 510	34, 510	103, 530
転管理委託業務	_	0	0	0	0	0
八份人类连份温年四元目	-	_	_	-	32, 369	32, 369
公営企業債償還年限延長	_	ı	-	ı	0	0
小林・亀井浄水場廃止	_	-	318, 000	318, 000	318, 000	954, 000
/ / / / 电升伊小物烷皿	_	_	223, 307	306, 537	312, 138	841, 982
深谷貯水池用途廃止等	_	-	19, 030	19, 030	19, 030	57, 090
(木台則) 小他用 壓廃 止守	_	_	17, 833	16, 903	18, 034	52, 770
小林・亀井浄水場跡地活用	-	-	-	-	1, 111, 870	1, 111, 870
/ / / / · 电升伊小场咖地佔用	-	-	_	_	0	0
給与減額等	25, 761	26, 787	27, 813	3, 667	3, 667	87, 695
和子例領守	23, 896	25, 460	26, 792	3, 667	3, 667	83, 482
生活保護減免廃止	-	-	-	-	-	-
生佔体護國光榮里	_	_	_	14, 050	16, 735	30, 785
△⇒左座は田聯号の廷田	-	-	-	-	-	-
会計年度任用職員の活用	-	28, 389	18, 926	18, 926	18, 926	85, 167
	_	_	_	_	_	_
兵庫県営水道の受水費改定	_	_	_	_	38, 325	38, 325
阪神水道の受水費改定	_	_	_	_	_	_
欧州小担の文小賞以上	_	_	_	_	8, 184	8, 184
合計	38, 561	76, 842	430, 898	440, 007	1, 584, 246	2, 570, 554
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	36, 514	75, 696	317, 715	390, 940	473, 896	1, 294, 761

(2) 計画期間後期の見直し

計画期間後期については、経営戦略で2,361,880千円を見込んでいた効果額は、「職員配置の見直し」「生瀬浄水場完全委託」「包括委託拡大」「小浜・惣川浄水場夜間等運転管理委託業務」「公営企業債償還年限延長」「小林・亀井浄水場廃止」「深谷貯水池用途廃止等」の減額、「技術職員の配置の見直し」「水道配水施設管理業務委託」の増額、「生活保護減免廃止」「兵庫県営水道の受水費改定」「阪神水道の受水費改定」の追加を行ったことにより、差引で98,968千円増額し、2,460,848千円となる見込みです。上段は経営戦略の金額、下段は見直し後の金額を記載しています。

(千円)

取組項目	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	合計
職員副果の日本1	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
職員配置の見直し	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632	28, 160
技術職員配置の見直し	32,000	32,000	32, 000	32,000	32, 000	160,000
1次州戦兵配直が元直し	36, 040	36, 040	36, 040	36, 040	36, 040	180, 200
水道配水施設管理業務委託	800	800	800	800	800	4,000
<u> </u>	2,804	2,804	2,804	2,804	2,804	14, 020
生瀬浄水場完全委託	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
工阀计小物儿主安比	3, 819	3, 819	3, 819	3, 819	3, 819	19, 095
包括委託拡大	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100, 000
已归安癿加八	9, 592	9, 592	9, 592	9, 592	9, 592	47, 960
小浜・惣川浄水場夜間等運	34, 510	34, 510	34, 510	34, 510	34, 510	172, 550
転管理委託業務	0	10, 059	10, 059	10, 059	20, 118	50, 295
公営企業債償還年限延長	1, 091	15, 111	35, 899	47, 185	62, 559	161, 845
五百正未頁頁逐中限延尺	1,030	14, 271	33, 906	44, 566	63, 990	157, 763
小林・亀井浄水場廃止	318,000	318,000	318, 000	318,000	318, 000	1, 590, 000
7.4件。电开伊小勿房正	308, 000	308, 000	308, 000	308, 000	308, 000	1, 540, 000
深谷貯水池用途廃止等	19, 030	19, 030	19, 030	19, 030	19, 030	95, 150
(本有) (內區/內壓/產五 守	17, 000	17,000	17, 000	17, 000	17, 000	85,000
給与減額等	3, 667	3, 667	3, 667	3, 667	3, 667	18, 335
加了吸取守	3, 667	3, 667	3, 667	3, 667	3, 667	18, 335
生活保護減免廃止	_	_	_	_	_	-
工作体设况允先业	16, 735	16, 735	16, 735	16, 735	16, 735	83, 675
兵庫県営水道の受水費改定	-	_	-	_	-	_
八产小口小也以又小貝以仁	38, 325	38, 325	38, 325	38, 325	38, 325	191, 625
阪神水道の受水費改定	-	-	-	-	-	-
水 水 火	8, 944	8, 944	8, 944	8, 944	8, 944	44, 720
合計	441, 098	455, 118	475, 906	487, 192	502, 566	2, 361, 880
ПП	451, 588	474, 888	494, 523	505, 183	534, 666	2, 460, 848



経営健全化の取組

- ・・経営基盤を強化するための費用削減等の取組
- 小林・亀井浄水場廃止
 - ・・平成30年度に小林・亀井浄水場の運転を停止したことによる経費削減額

第4章 経営戦略策定後に生じた変化

経営戦略の策定時点では想定されていなかった事象について、次のとおり必要な費用を計上して対策を講じます。

(1) 水道法の改正

令和元年(2019 年)10月1日に改正水道法が施行され、適切な資産管理のために「水道施設台帳を適切に作成及び保存し、更新作業を着実に行うこと。さらに、水道施設台帳の電子化等、長期的な資産管理を効率的に行うこと」が求められました。また、水道の基盤を強化するために「将来の更新需要等を考慮した上で水道料金を設定すること。概ね3年から5年ごとの適切な時期に検証し、必要に応じて見直すこと」などが求められています。令和3年度(2021年度)に水道施設台帳を作成するため、次のとおり費用を計上します。

(千円)

年 度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
営業費用 (委託費)	20,000	0	0	0	0

(2) 上下水道局新庁舎建設事業の延伸

計画期間前期で完成を予定していた上下水道局新庁舎について、入札の不調等により工事着工が遅れていますが、令和5年(2023年)1月の完成を目指し、次のとおり建設改良費を再計上します。また、令和3年(2021年)1月から新庁舎の完成までの間、仮設庁舎により対応するため、営業費用に賃借料、特別損失に現庁舎の解体費用を計上します。

(千円)

年 度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
新庁舎建設事業費	465, 127	672, 828	0	0	0
営業費用 (その他)	77, 572	77, 572	19, 393	0	0
特別損失	216, 073	0	0	0	0



水道法の改正

・・人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の 水道の直面する課題に対応し、水道基盤の強化を図るために行われた改正 (水道施設台帳は令和4年9月30日までに作成)

第 5 章 財政収支計算表

経営戦略で見込んだ財政収支の数値に第2章から第4章までの内容を盛り込むこと等により、令和7年度(2025年度)までの財政収支について見直しを行います。

(1) 収益的収支

			H28 (2016)	H29(2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
給水人口		(人)	225, 345	225, 337	225, 050	224, 763	223, 992
一般	年間有収水量	(m³)	21, 618, 024	21, 181, 029	20,661,805	21, 196, 451	21, 998, 620
家庭用	供給単価	(円/m³)	141.31	140.75	138. 51	140.54	122.03
永 庭用	(一人当たり使用水量)	(0/日)	(262.8)	(257.5)	(251.5)	(257.7)	(269. 1)
業務用	年間有収水量	(m³)	1,651,149	2, 131, 247	2, 549, 597	1, 962, 082	1,674,023
未扬用	供給単価	(円/m³)	284. 25	259.86	259.38	279.14	249. 24
合計	年間有収水量	(m³)	23, 269, 173	23, 312, 276	23, 211, 402	23, 158, 533	23, 672, 643
	供給単価	(円/m³)	151. 45	151.64	151. 79	152. 28	131.03

(千円)

収益	的収支(税抜き)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
	1. 営業収益	3,696,530	3, 723, 066	3, 691, 162	3, 692, 038	3, 278, 650
	給水収益	3, 524, 138	3, 535, 035	3, 523, 169	3, 526, 658	3, 101, 772
	(うち一般家庭用)	(3,054,807)	(2,981,206)	(2,861,857)	(2,978,968)	(2, 684, 531)
	(うち業務用)	(469, 331)	(553, 829)	(661, 312)	(547, 690)	(417, 241)
	受託工事収益	20, 431	18, 983	19, 229	17, 201	16, 017
収	その他営業収益	151,961	169, 048	148, 764	148, 179	160,861
	2. 営業外収益	673, 745	699, 713	779, 048	634, 511	821, 212
的	受取利息	10, 327	8,857	4, 923	3,604	2,745
収	分担金	184, 596	206, 860	280, 750	148, 082	127, 913
入	他会計補助金	6, 206	5, 574	5, 544	5, 156	
	雑収益	17, 427	18, 663	17, 708	16, 151	17, 995
	長期前受金戻入	455, 189	459, 759	470, 123	461, 518	458, 309
	3. 特別利益	40, 331	1, 799	583, 539	8, 933	2, 425
	過年度損益修正益等	40, 331	1, 799		8, 933	
	収益的収入合計	4, 410, 606			, ,	4, 102, 287
	1. 営業費用	3, 882, 960	4, 186, 402	4, 390, 926	4, 345, 986	4, 177, 842
	人件費	796, 841	769, 118	737, 925	767, 641	767, 378
	動力費	327, 472	342, 305	271, 394	242, 296	226, 895
	薬品費	51, 285	47, 206	40, 218	39, 648	68,672
	修繕費	272, 792	217, 953	255, 062	229, 791	211,875
収	受水費	619,629	958, 743	1, 246, 054	1, 309, 637	1,062,045
益	委託料	408, 154	434, 796	426, 514	423, 767	463, 021
的	減価償却費	1, 259, 475	1, 268, 011	1, 297, 056	1, 203, 529	1, 214, 723
支	除却費	6, 957	9, 079	6, 913	8, 350	
出	その他	140, 355	139, 191	109, 790	121, 327	151, 584
124	2. 営業外費用	202, 491	199, 872	201, 140	194, 496	
	支払利息	202, 022	199, 558	200, 639	194, 019	
	その他	469	314	501	477	23, 136
	3. 特別損失	1, 316	1, 889	2, 779	769, 361	5, 084
	過年度損益修正損等	1, 316	1, 889	2, 779	769, 361	
	収益的支出 合計	4, 086, 767	4, 388, 163	4, 594, 845		
当年	度純損益	323, 839	36, 415	458, 904	△ 974, 361	△ 290, 930

資本	的収支(税込)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
資	企業債	1, 158, 100	1,806,600	916,600	1,751,000	1,398,300
本	工事負担金	73,650	53, 973	29, 041	17, 342	0
的	他会計負担金	3, 490	852	2,036	10, 095	12, 709
収	その他資本的収入	500,000	1, 150, 000	1,000,312	757, 375	500,000
入	資本的収入 合計	1,735,240	3, 011, 425	1,947,989	2, 535, 812	1,911,009
	建設改良費	2, 475, 411	3, 122, 253	1,200,969	2, 055, 931	1,669,409
	阪神水道受水事業費	2, 120, 953	2, 202, 401	428, 245	646, 145	0
	水道水源間バックアップ強化事業費	0	5, 400	6, 480	0	0
	管路更新・耐震化事業費	119, 222	141, 317	171, 473	588, 503	704, 984
資	基幹施設耐震化事業費	8, 130	0	0	0	232, 624
本	新庁舎建設事業費	0	595, 276	38, 898	38, 795	7, 403
的	惣川浄水場浄水処理強化事業費	0	0	394, 200	0	364, 232
支	その他施設・設備更新費等	227, 106	177, 859	161,673	782, 488	360, 166
出	企業債償還金	445, 043	460, 173	476,078	517, 987	548, 811
	他会計貸付金	70,000	0	0	0	300,000
	投資	510,000	500,000	500,000	250,000	0
	その他資本的支出	0	0	0	0	0
	資本的支出 合計	3, 500, 454	4, 082, 426	2, 177, 047	2, 823, 918	2,518,220
資本	的収支不足額	\triangle 1, 765, 214	\triangle 1, 071, 001	△ 229,058	△ 288, 106	\triangle 607, 211
	<u>-</u>			•		
企業	債残高	11, 045, 248	12, 391, 675	12, 832, 197	14, 065, 209	14, 914, 698
	<u>-</u>					
資金	残高	3, 591, 695	4, 010, 771	4, 035, 887	3, 778, 605	4,030,269
	·					

(収益的収支)

→推定値

			R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
給水人口		(人)	223, 031	221, 939	220, 849	219, 761	218,675
一般	年間有収水量	(m³)	21, 784, 330	21, 661, 468	21, 537, 972	21, 416, 808	21, 295, 009
家庭用	供給単価	(円/m³)	142. 88	142.84	142.80	142. 76	142. 72
永 庭用	(一人当たり使用水量)	(0/目)	(267. 6)	(267.4)	(267. 2)	(267. 0)	(266. 8)
業務用	年間有収水量	(m³)	1,657,283	1, 655, 626	1, 653, 970	1, 652, 316	1,650,664
木/カ/П	供給単価	(円/m³)	257. 77	257. 51	257. 25	257.00	256. 74
合計	年間有収水量	(m³)	23, 441, 613	23, 317, 094	23, 191, 942	23, 069, 124	22, 945, 673
	供給単価	(円/m³)	151.00	150.98	150.96	150.94	150. 92

(千円)

収益	的収支(税抜き)	R3 (2021)	R4(2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	1. 営業収益	3, 728, 046	3, 687, 664	3, 668, 305	3, 649, 303	3, 630, 210
	給水収益	3, 539, 684	3, 520, 415	3, 501, 056	3, 482, 054	3, 462, 961
	(うち一般家庭用)	(3, 112, 486)	(3,094,071)	(3,075,565)	(3,057,414)	(3,039,170)
	(うち業務用)	(427, 198)	(426, 344)	(425, 491)	(424, 640)	(423, 791)
	受託工事収益	18,845	19,000	19,000	19,000	19,000
収	その他営業収益	169, 517	148, 249	148, 249	148, 249	148, 249
益	2. 営業外収益	687,260	647, 957	635, 039	625, 025	598, 728
的	受取利息	1,982	1,836	1, 465	1, 485	1,263
収	分担金	180, 535	155, 600	153, 600	151,600	149,600
入	他会計補助金	5,624	5,000	5,000	5,000	5,000
	雑収益	38, 470	23, 500	17,500	17,500	17,500
	長期前受金戻入	460,649	462,021	457, 474	449, 440	425, 365
	3. 特別利益	320, 298	2,000	2,000	2,000	2,000
	過年度損益修正益等	320, 298	2,000	2,000	2,000	2,000
	収益的収入合計	4, 735, 604	4, 337, 621	4, 305, 344	4, 276, 328	4, 230, 938
	1. 営業費用	4, 495, 258	4, 462, 788	4, 373, 006	4, 342, 848	4, 304, 703
	人件費	764, 411	699,818	694, 018	686, 418	616,023
	動力費	229,063	234, 725	234, 725	234, 725	234, 725
	薬品費	45, 528	68, 065	68, 065	68, 065	68,065
	修繕費	250, 943	250, 938	250, 938	250, 938	250, 938
収	受水費	1, 241, 213	1, 241, 213	1, 241, 213	1, 241, 213	1, 241, 213
益	委託料	453,010	480,611	480, 611	480,611	541,947
的	減価償却費	1, 223, 718	1, 230, 047	1, 254, 244	1, 249, 453	1, 220, 367
支	除却費	7,825	7,825	7,825	7,825	7,825
H	その他	279, 547	249, 546	141, 367	123,600	123,600
ш	2. 営業外費用	201, 518	179, 178	177, 685	174, 306	172, 450
	支払利息	185, 304	178, 738	177, 245	173, 866	172,010
	その他	16, 214	440	440	440	440
	3. 特別損失	258, 283	1,852	1,852	1,852	1,852
	過年度損益修正損等	258, 283	1,852	1,852	1,852	1,852
	収益的支出 合計	4, 955, 059	4,643,818	4, 552, 543	4, 519, 006	4, 479, 005
当年	度純損益	\triangle 219, 455	△ 306, 197	△ 247, 199	△ 242,678	△ 248,067

(資本的収支) (千円)

資本	的収支(税込)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
資	企業債	1, 550, 500	1,643,500	1, 155, 000	1, 155, 000	1, 155, 000
本	工事負担金	18, 300	29, 773	29, 773	29, 773	29,773
的	他会計負担金	14,000	12,000	12,000	12,000	12,000
収	その他資本的収入	629, 635	0	500,000	0	300,000
入	資本的収入 合計	2, 212, 435	1,685,273	1, 696, 773	1, 196, 773	1, 496, 773
	建設改良費	1,911,875	2, 347, 828	1,650,000	1,650,000	1,650,000
	阪神水道受水事業費	0	0	0	0	0
	水道水源間バックアップ強化事業費	0	0	0	0	0
	管路更新・耐震化事業費	920,000	920,000	920, 000	920, 000	920,000
資	基幹施設耐震化事業費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
本	新庁舎建設事業費	465, 127	672, 828	0	0	0
的	惣川浄水場浄水処理強化事業費	0	0	0	0	0
支	その他施設・設備更新費等	426, 748	655,000	630,000	630,000	630,000
出	企業債償還金	584, 561	631, 176	666, 003	685, 620	706, 933
	他会計貸付金	300,000	130,000	50,000	20,000	0
	投資	500,000	0	0	0	0
	その他資本的支出	0	0	0	0	0
	資本的支出 合計	3, 296, 436	3, 109, 004	2, 366, 003	2, 355, 620	2, 356, 933
資本	的収支不足額	△ 1,084,001	\triangle 1, 423, 731	△ 669, 230	\triangle 1, 158, 847	△ 860, 160
企業	債残高	16, 092, 337	17, 104, 661	17, 593, 658	18, 063, 038	18, 511, 105
資金	残高	3, 671, 514	2, 930, 876	2, 969, 042	2, 525, 355	2, 369, 955

財政収支のまとめ -

計画期間後期の合計で約13億円の損失が発生する見込みです。これは、令和2年度(2020年度)末までに獲得した利益剰余金約12億円を上回っています。第5章で検討した経営健全化の取組みを実行した上での金額であることから、事業を安定して継続するためには、料金改定について考慮する必要があります。計画期間前期終了時点において既に3年連続で経常収支比率が100%を下回っていますので、世代間の公平な負担を考えれば、できるだけ早い時期の料金改定が必要です。なお、水道料金の値上げの改定は、昭和55年度(1980年度)以降実施していません。

損失・・・・・赤字 (総費用が総収益を上回る額)

利益剰余金・・・企業が生み出した利益の累計額

経常収支比率・・経常収益の経常費用に対する割合(100%で経常収益が経常費用を

上回っている状態)

用語の説明

第 6 章 総括原価方式による料金改定率の試算

経営戦略において、「5年連続して経常収支比率が100%を下回ることが予想される令和3年度(2021年度)までに、経営の合理化等の取組等を行うとともに、それでもなお純損益の赤字が見込まれる場合は水道料金の改定を検討します」と記載しています。今回の経営戦略の見直しにあたって、将来推計を見直した結果、令和4年度(2022年度)に5年連続して経常収支比率が100%下回る見込みとなったことから、必要な料金改定率を総括原価方式により試算します。

(1) 試算の条件

次の条件により改定率を試算します。

算定方法	総括原価方式						
算定期間	令和4年度(2022年度)から令和7年度(2025年度)						
算定基礎数值	第5章に記載の数値を採用						
対象経費から控除する額	長期前受金戻入額、受託工事収益、その他営業収益 の合計額						
次立外杜弗	償却資産の未償却残高の額×平均的自己資本構成比率 (50%) ×						
資産維持費	企業債借入利率の平均 (0.5%) で算定 (73,000千円/年)						

(2) 改定率の試算

算定期間(令和4年度(2022年度)から令和7年度(2025年度)まで)の給水収益と対象経費は次のとおりです。結果、総括原価方式により試算した改定率は15%です。

(千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	∆∌L
		(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	合計
給	水収益	3, 520, 415	3, 501, 056	3, 482, 054	3, 462, 961	13, 966, 486
対	象経費	4, 641, 966	4, 550, 691	4, 517, 154	4, 477, 153	18, 186, 964
	経常費用	4, 641, 966	4, 550, 691	4, 517, 154	4, 477, 153	18, 186, 964
対	象経費から控除する額	629, 270	624, 723	616, 689	592, 614	2, 463, 296
	長前前受金戻入額	462, 021	457, 474	449, 440	425, 365	1, 794, 300
	受託工事収益	19, 000	19,000	19,000	19,000	76, 000
	その他営業収益	148, 249	148, 249	148, 249	148, 249	592, 996
資	産維持費	73, 000	73, 000	73, 000	73, 000	292, 000
不	足額	565, 281	497, 912	491, 411	494, 578	2, 049, 182

改定率 = 2,049,182千円 ÷ 13,966,486千円 ≒ 15%



総括原価方式・・かかった費用(人件費、薬品費等)から水道料金以外の収入を控 除して料金を算定する方法

資産維持費・・・施工環境の悪化や高機能化による工事費の増大等に対応するため に原価に算入される費用

第7章 今後の課題

今後、人口の減少により有収水量が減少し、それに比例して給水収益も減少するため、令和50年度(2068年度)の給水収益は、令和元年度(2019年度)と比較して約13億円減少する見込みです。それに対して費用は、老朽化・耐震化の対策として毎年度約10kmの管路更新を行うことから、企業債に係る支払利息や減価償却費が増加します。令和50年度(2068年度)の減価償却費は令和元年度(2019年度)の約12億円から約3億円増加して約15億円となり、それに応じて企業債に係る支払利息や償還金も増加します。50年後の宝塚市の水道事業は、現在とは比較にならないほど厳しい経営状況になるため、この50年間で複数回の料金改定が必要です。

なお、この経営予測は毎年度平均して約17億円の管路更新等の費用が必要というタイプ2C (将来の更新需要を簡易な方法で検討する手法)のアセットマネジメントから算出しており、計画期間後期で予定しているタイプ3C (将来の更新需要をタイプ2Cより詳細に検討する手法)へのレベルアップにより、変動する可能性があります。よって、今後の詳細な経営予測は、タイプ3Cへのレベルアップの結果を待つ必要があります。

また、アセットマネジメントの問題と共に、近い将来に解決すべき問題が、水源の問題です。現在は「自己水」(惣川浄水場及び小浜浄水場で浄水する水)「兵庫県営水道からの受水」「阪神水道企業団からの受水」の3つの水源から供給しており、それぞれほぼ同量の配分となっていますが、将来の水需要の低下により、どの水源にどれだけの水量を求めるのが適当かを検討する必要があります。



有収水量・・・料金徴収の対象となる水量

企業債・・・・水道施設の建設等に充てるために借り入れる借入金

減価償却費・・資産の取得に要した額を使用できる期間に配分した費用

アセットマネジメント・・水道施設の効率的かつ効果的な管理運営の体系的な手法

宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し

概要版

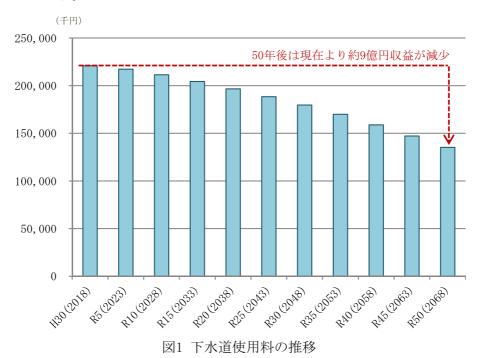
令和3年(2021年)7月 宝塚市上下水道局

目次

第1章	見直しの趣旨	• •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
第2章	計画期間前期の	「収	益•	費	用」	等	の	検	証			•				•	•			2
(1)	収益・費用・			•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
(2)	下水道使用料収	入		•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
(3)	投資・・・・	• •		•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
第3章	計画期間前期の	「経	営傾	全	化の)取	組] (の核	証	ح :	後	期	の	見	込	み		•	4
(1)	計画期間前期の	実績	•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
(2)	計画期間後期の	見直	し	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
第4章	経営戦略策定後	に生	じた	_変	化			•									•			6
(1)	ゲリラ豪雨等へ	の対	応・	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
(2)	都市計画道路拡	幅計	画に	基	づレ	いた	管	路	整備	i	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
第5章	財政収支計算表							•												7
	収益的収支 ·						•	•			•		•	•	•	•			•	7
(2)	資本的収支 •			•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
第6章	下水道使用料の	あり	方検	討		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•		•	1 0
第7章	今後の課題 ・																			1 1

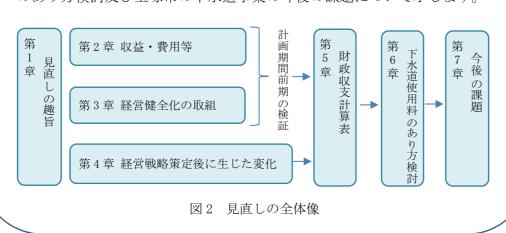
第 1 章 見直しの趣旨

平成28年(2016年)12月に策定した宝塚市下水道事業経営戦略(以下「経営戦略」という。)について、策定から4年が経過し、幾つかの計画値と実績値との間に乖離が生じていることや下水道事業を取り巻く環境が変化していること等を踏まえ、見直しを行います。下水道事業は「今後、水需要の減少により収入が大きく落ち込む」という課題に直面しています。人口推計等から試算すると、下図のとおり下水道使用料はこの50年で約9億円減少する見込みです。このような状況で安定的に事業を継続するために、見直しは不可欠です。



○ 見直しの流れ

今回の見直しでは、下図のとおり、計画期間前期の収益・費用等について検証した後、財政計画を下支えする「経営健全化の取組」について計画期間前期の検証を行い、経営戦略策定後に生じた変化を加えて、計画期間後期の財政収支を見込みます。また、それらを基礎として、下水道使用料のあり方検討及び宝塚市の下水道事業の今後の課題について示します。



第2章 計画期間前期の「収益・費用」等の検証

計画期間前期の収益・費用等(平成28年度(2016年度)から令和元年度(2019年度)までは決算値、令和2年度(2020年度)は決算見込値)について検証します。表題に付されている括弧書きの数字は、経営戦略の該当頁を示しています。なお、計画期間後期の見込額については、第5章に記載しています。

(1) 収益・費用(15)

経営戦略では平成28年度(2016年度)から令和2年度(2020年度)までの合計で2,190,956 千円の経常利益が生じる見込みでしたが、実際は2,270,150千円の経常利益となり、利益 が79,194千円増加する結果となりました。令和2年度(2020年度)に下水道使用料の減免 を行ったこと等により下水道使用料収入は減少しましたが、費用について、投資額の合 計が経営戦略に満たなかったことにより(支払利息はそれに加えて利率が経営戦略より も低かったことにより)、減価償却費及び支払利息の実績が経営戦略と比べて減少した ため、経常利益が増加しました。

① 経常収益 (千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	4, 524, 080	4, 587, 398	4, 550, 209	4, 485, 182	4, 456, 395	22, 603, 264
実 績	4, 552, 491	4, 529, 180	4, 469, 004	4, 411, 492	4, 191, 822	22, 153, 989
差額	28, 411	△58, 218	△81, 205	△73, 690	△264, 573	△449, 275

② 経常費用 (千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	4, 249, 819	4, 099, 839	4, 035, 160	4, 035, 082	3, 992, 408	20, 412, 308
実 績	4, 012, 880	3, 987, 771	3, 933, 874	3, 998, 692	3, 950, 622	19, 883, 839
差額	△236, 939	△112, 068	△101, 286	△36, 390	△41, 786	△528, 469

(2)下水道使用料収入(15)

計画期間前期の下水道使用料の実績は、ほぼ経営戦略どおり推移しました。なお、令和2年度(2020年度)に実績が大きく減少しているのは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市民生活等を支援するため、4カ月間の基本料金の減免を行ったためです。

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	2, 175, 232	2, 234, 693	2, 238, 603	2, 243, 306	2, 234, 826	11, 126, 660
実 績	2, 203, 992	2, 282, 992	2, 263, 691	2, 254, 187	2, 066, 388	11, 071, 250
差額	28, 760	48, 299	25, 088	10, 881	△168, 438	△55, 410

(3)投資(5)

雨水事業及び汚水事業に係る投資として、平成28年度(2016年度)から令和2年度 (2020年度) までの合計で経営戦略では3,261,278千円を見込んでいましたが、実際は 1,286,503千円の支出となり、1,974,775千円減少する結果となりました。特に雨水事業に ついて雨水ポンプ場の再構築事業が遅延し、2,307,741千円の経営戦略に対して687,108 千円の執行となり、金額ベースで約30%しか実施できていません。計画期間後期について は、令和7年度(2025年度)の完成を目指して武庫川ポンプ場の再構築を行い、西田川ポ ンプ場は令和7年度(2025年度)に工事着手の予定です。

① 汚水事業 (千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	157, 100	160,000	180, 000	190, 000	266, 437	953, 537
実 績	64, 391	73, 453	78, 782	132, 769	250, 000	599, 395
差	△92, 709	△86, 547	△101, 218	△57, 231	△16, 437	△354, 142

② 雨水事業 (千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	248, 130	553, 876	752, 206	728, 029	25, 500	2, 307, 741
実 績	246, 345	72, 519	86, 389	162, 529	119, 326	687, 108
差	△1,785	△481, 357	△665, 817	△565, 500	93, 826	△1, 620, 633

用語の説明

経常収益・・・・営業収益と営業外収益の合計額 経常費用・・・・・営業費用と営業外費用の合計額

経常利益・・・・経常収益から経常費用を控除した額

第 3 章 計画期間前期の「経営健全化の取組」の検証と後期の見込み

経営健全化の取組について、計画期間前期の実績額(平成28年度(2016年度)から令和元年度(2019年度)までは決算額、令和2年度(2020年度)は決算見込額)を算定し、その結果に基づいて計画期間後期の効果額を見直します。なお、表題に付されている括弧書きの数字は、経営戦略の該当頁を示しています。括弧書きの数字のない項目は新たに追加した項目です。

(1)計画期間前期の実績

計画期間前期の実績について、経営戦略で 2,317,543 千円を見込んでいた効果額は、「管路維持管理業務の包括委託」の効果額が減少したこと等により合計で 185,187 千円下回り、2,132,356 千円となりました。

上段は経営戦略の金額、下段は実績額を記載しています。

(千円)

取組項目	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
職員配置の見直し	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
	6, 148	6, 148	6, 148	6, 148	6, 148	30, 740
管路維持管理業務の包括	-	50,000	100,000	100,000	100,000	350,000
委託	ı	0	0	10, 358	10, 675	21,033
公営企業債償還年限延長	-	-	-	-	4, 510	4, 510
公呂正未領頂逐中സ延攻	ı	ı	ı	ı	0	0
給与減額等	6, 231	6, 501	6, 771	965	965	21, 433
和子例很守	5, 834	7, 055	7, 235	965	965	22, 054
 下水道使用料の改定	291, 600	350, 000	350, 000	350, 000	350, 000	1, 691, 600
小垣灰州村の坂足	313, 822	377, 788	377, 788	377, 788	377, 788	1, 824, 974
生活保護減免廃止	-	-	-	-	-	-
工伯怀设例允用工	-	-	-	10, 744	12, 811	23, 555
一般会計からの繰入金	70,000	70,000	70,000	-	-	210,000
双云司 かりの深八金	70,000	70,000	70,000	-	-	210,000
Δ⊒.	375, 831	484, 501	534, 771	458, 965	463, 475	2, 317, 543
合計	395, 804	460, 991	461, 171	406, 003	408, 387	2, 132, 356

(2)計画期間後期の見直し

計画期間後期については、経営戦略で2,317,375 千円を見込んでいた効果額は、「職員配置の見直し」「管路維持管理業務の包括委託」の減額、「公営企業債償還年限延長」「下水道使用料の改定」の増額、「生活保護減免廃止」の追加を行いますが、差引で244,370 千円減額し、2,073,005 千円となる見込みです。

上段は経営戦略の金額、下段は見直し後の金額を記載しています。

(千円)

取組項目	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	合計
	8, 000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
職員配置の見直し	6, 148	6, 148	6, 148	6, 148	6, 148	30, 740
管路維持管理業務の包括	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500, 000
委託	10, 358	10, 358	10, 358	10, 358	10, 358	51, 790
公営企業債償還年限延長	690	2, 806	3, 793	5, 304	9, 957	22, 550
公呂正未惧惧逐中സ延攻	1, 162	4, 383	6, 043	8, 583	12, 484	32, 655
給与減額等	965	965	965	965	965	4, 825
和子枫镇寺	965	965	965	965	965	4, 825
 下水道使用料の改定	350, 000	350, 000	350, 000	350, 000	350, 000	1, 750, 000
下	377, 788	377, 788	377, 788	377, 788	377, 788	1, 888, 940
生活保護減免廃止	_	_	_	_	_	_
土佰休喪俠允廃止	12, 811	12, 811	12, 811	12, 811	12, 811	64, 055
合計	459, 655	461, 771	462, 758	464, 269	468, 922	2, 317, 375
百亩	409, 232	412, 453	414, 113	416, 653	420, 554	2, 073, 005



経営健全化の取組

・・経営基盤を強化するための費用削減等の取組

管路維持管理業務の包括委託

・・管路の維持管理に係る業務を包括的に委託することにより生み出す費用削減額

第4章 経営戦略策定後に生じた変化

経営戦略の策定時点では想定されていなかった事象について、次のとおり必要な費用を計上して対策を講じます。

(1) ゲリラ豪雨等への対応

ゲリラ豪雨や台風による大雨の被害が発生している現状に対応するため、次のとおり 建設改良費を計上し、被害が発生する地域の雨水渠の増設を行います。

(千円)

年 度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
公共下水道 雨水	125, 000	83,000	35, 000	80,000	35, 000

(2) 都市計画道路拡幅計画に基づいた管路整備

都市計画道路拡幅計画に基づいて管路の布設替等を行うため、次のとおり建設改良費を計上します。

(千円)

年 度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
公共下水道 汚水	20,000	20,000	10,000	10,000	10,000

用語の説明

雨水渠・・・雨水を流すための管や水路などの構造物の総称

第 5 章 財政収支計算表

経営戦略で見込んだ財政収支の数値に第2章から第4章までの内容を盛り込むこと等により、令和7年度(2025年度)までの財政収支について見直しを行います。

(1) 収益的収支

<i>)</i> 4X	益的収支					
					実績値←	(決算見込み)
		H28 (2016)	H29(2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
	水洗化人口 (人)	220, 265	220, 919	220, 780	220,610	220,007
	年間有収水量 (m³)	23, 275, 598	23, 345, 114	23, 235, 779	23, 183, 140	23, 730, 936
	使用料単価 (円/m³)	94. 69	97. 79	97.42	97.20	87.08
						(千円)
収益	的収支(税抜き)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
	1. 営業収益	3, 055, 220	3, 056, 212	2, 944, 336	2, 975, 641	2,800,327
	下水道使用料	2, 203, 992	2, 282, 992	2, 263, 691	2, 254, 187	2, 066, 388
	(うち一般家庭用)	(1,809,946)	(1,919,994)	(1,910,214)	(1, 915, 334)	(1,772,032)
	(うち業務用)	(394, 046)	(362, 998)	(353, 477)	(338, 853)	(294, 356)
	雨水処理負担金	743, 307	696, 931	671, 482	703, 521	718, 785
収	他会計負担金	105, 935	74, 050	6,841	14, 267	14, 095
益	その他営業収益	1, 986	2, 239	2,322	3,666	1,059
	2. 営業外収益	1, 497, 271	1, 472, 968	1, 524, 668	1, 435, 851	1, 391, 495
収	他会計補助金	783, 748	756, 746	734, 548	646, 397	626, 376
入	他会計負担金	0	0	68, 472	65, 700	59, 706
	その他	4,636	5, 063	4,610	4,633	5,011
	長期前受金戻入	708, 887	711, 159	717, 038	719, 121	700, 402
	3. 特別利益	1, 293	1, 468	180, 976	784	980
	過年度損益修正益等	1, 293	1, 468	180, 976	784	980
	収益的収入合計	4, 553, 784	4, 530, 648	4, 649, 980	4, 412, 276	4, 192, 802
	1. 営業費用	3, 384, 610	3, 434, 209	3, 432, 997	3, 544, 523	3, 550, 400
	人件費	159, 295	168, 499	149, 833	174, 119	177, 937
	修繕費	136, 294	146, 241	141, 989	155, 068	155, 149
	委託料	98, 618	106, 937	122, 063	128, 523	
収	流域下水道維持管理負担金	682, 215	694, 637	702, 053	747, 554	758, 747
益	減価償却費	2, 141, 063	2, 136, 309	2, 143, 843	2, 145, 124	2, 119, 337
的	その他	167, 125	181, 586	173, 216	194, 135	183, 222
	2. 営業外費用	628, 270	553, 562	500, 877	454, 169	400, 222
出	支払利息	582, 792	524, 000	468, 910	414, 733	357, 695
	雑支出	45, 478	29, 562	31, 967	39, 436	42, 527
	3. 特別損失	1, 340	1, 473	6, 402	2, 928	2, 505
	過年度損益修正損等	1, 340	1, 473	6, 402	2, 928	2,505
	収益的支出 合計	4, 014, 220	3, 989, 244	3, 940, 276	4,001,620	3, 953, 127
当年	E 度純損益	539, 564	541, 404	709, 704	410,656	239, 675

(2) 資本的収支 (千円)

					実績値←	(決算見込み)
資本的以	収支(税込)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
企業	業債(公共下水道)	217, 100	79, 300	112,500	221, 200	254, 300
資 企業	業債 (流域下水道)	64, 100	63, 200	133, 400	119, 400	119,500
本企業	業債 (資本費平準化債)	400,000	989, 100	682,000	474, 200	472,000
9 負担	担金	3, 662	4, 745	2, 595	3, 490	4, 250
収国庫	車補助金	39, 620	29, 926	32, 390	45, 950	41,874
入他会	会計負担金	256, 930	257, 684	208, 440	166, 724	151, 395
7 20	の他資本的収入	211, 495	397	1, 330	625	1, 195
資本	本的収入 合計	1, 192, 907	1, 424, 352	1, 172, 655	1,031,589	1,044,514
建設	设改良費	490, 286	324, 440	404, 172	508, 339	592, 437
	公共下水道 (汚水)	64, 391	73, 453	78, 782	132, 769	250,000
資	公共下水道 (雨水)	246, 345	72, 519	86, 389	162, 529	119, 326
本	流域下水道建設負担金	110, 790	107, 906	176, 702	158, 221	153, 827
的	固定資産購入費	2, 259	3, 106	5, 285	924	16, 157
支	その他	66, 501	67, 456	57,014	53, 896	53, 127
出企業	業債償還金	2, 726, 623	2, 858, 917	2, 538, 279	2, 468, 275	2, 520, 005
その	の他資本的支出	1,065	300, 360	300,000	360	0
資本	本的支出 合計	3, 217, 974	3, 483, 717	3, 242, 451	2, 976, 974	3, 112, 442
資本的収支不足額		\triangle 2, 025, 067	\triangle 2, 059, 365	\triangle 2, 069, 796	\triangle 1, 945, 385	\triangle 2, 067, 928
企業債残高		25, 314, 818	23, 587, 501	21, 977, 122	20, 323, 647	18, 649, 441
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , ,			
営業運転資金に充てるための借入金残高		370, 000	370,000	370,000	370,000	670,000
資金残高		384, 746	638, 058	504, 324	275, 324	257, 233

(収益的収支)

→推定値

	→推定値							
		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)		
	水洗化人口 (人)	219, 131	218, 172	217, 204	216, 224	215, 239		
年間有収水量 (m³)		23, 383, 497	23, 271, 111	23, 216, 668	23, 043, 807	22, 929, 288		
使用料単価 (円/m³)		97. 20	97. 18	97. 16	97.14	97. 12		
	(千円)							
収益的収支(税抜き)		R3 (2021)	R4(2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)		
	1. 営業収益	3, 003, 036	2, 948, 116	2, 929, 764	2, 911, 227	2,890,897		
	下水道使用料	2, 272, 876	2, 261, 487	2, 255, 731	2, 238, 475	2, 226, 892		
	(うち一般家庭用)	(1,940,800)	(1,930,075)	(1,924,982)	(1, 908, 387)	(1,897,464)		
	(うち業務用)	(332, 076)	(331, 412)	(330, 749)	(330, 088)	(329, 428)		
	雨水処理負担金	722, 842	678, 029	665, 433	664, 152	655, 405		
収	他会計負担金	7,009	8,000	8,000	8,000	8,000		
益	その他営業収益	309	600	600	600	600		
的	2. 営業外収益	1, 095, 616	1, 251, 757	1, 241, 170	1, 220, 883	1, 200, 753		
収	他会計補助金	339, 290	485, 432	477, 946	469,000	460, 792		
入	他会計負担金	64, 753	50, 035	46,633	44, 739	43, 119		
	その他	4,622	4, 355	4,355	4, 355	4, 355		
	長期前受金戻入	686, 951	711, 935	712, 236	702, 789	692, 487		
	3. 特別利益	264	455	455	455	455		
	過年度損益修正益等	264	455	455	455	455		
	収益的収入合計	4, 098, 916	4, 200, 328	4, 171, 389	4, 132, 565	4, 092, 105		
	1. 営業費用	3, 749, 411	3, 674, 127	3, 632, 346	3, 669, 449	3, 622, 768		
	人件費	176, 795	164, 787	164, 787	163, 787	168, 287		
	修繕費	168, 619	169, 898	169, 898	169, 898	169, 898		
	委託料	167, 032	155, 293	125, 293	170, 293	125, 293		
収	流域下水道維持管理負担金	883, 996	841, 716	841,716	841, 716	841, 716		
益	減価償却費	2, 139, 642	2, 125, 827	2, 144, 046	2, 137, 149	2, 130, 968		
的	その他	213, 327	216, 606	186, 606	186, 606	186, 606		
支	2. 営業外費用	348, 715	296, 829	254, 932	223, 384	199, 832		
出	支払利息	309, 436	251,829	209, 932	178, 384	154, 832		
	雑支出	39, 279	45,000	45,000	45,000	45,000		
	3. 特別損失	790	790	790	790	790		
	過年度損益修正損等	790	790	790	790	790		
	収益的支出 合計	4, 098, 916	3, 971, 746	3, 888, 068	3, 893, 623	3, 823, 390		
当年	度純損益	0	228, 582	283, 321	238, 942	268, 715		

(資本的収支) (千円)

				→推定値					
資本的収支 (税込) R3(2021) R4	4(2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)					
企業債(公共下水道) 479,000	832, 100	504, 800	973, 500	1, 475, 700					
資 企業債 (流域下水道) 158, 700 158, 7	158, 300	158, 300	158, 300	158, 300					
点 企業債(資本費平準化債) 724,750 本 2.000	525, 700	0	425,000	499, 300					
的 負担金 3,302	5,000	5,000	5,000	5,000					
国庫補助金 33, 250	83, 145	87,507	75, 450	461,084					
入 他会計負担金 171,472	125,800	88,653	81,843	68, 058					
へ その他資本的収入 690	0	0	0	0					
資本的収入 合計 1,571,164	1,730,045	844, 260	1,719,093	2,667,442					
建設改良費 851, 215	1, 287, 712	903, 462	1, 412, 162	2, 355, 785					
公共下水道 (汚水) 423,950	831, 450	558, 400	754, 500	1,032,100					
資 公共下水道 (雨水) 148,750	181, 200	95,000	407,600	1, 073, 623					
本 流域下水道建設負担金 198,263	166,660	166, 660	166, 660	166, 660					
的 固定資産購入費 22,531	38, 402	13, 402	13, 402	13, 402					
支 その他 57,721	70,000	70,000	70,000	70,000					
出 企業債償還金 2,403,462	2, 323, 946	1, 781, 528	2, 119, 562	1, 925, 504					
その他資本的支出 1,080	0	0	0	300,000					
資本的支出 合計 3,255,757	3,611,658	2, 684, 990	3, 531, 724	4, 581, 289					
資本的収支不足額 △ 1,684,593 △	1,881,613	△ 1,840,730	△ 1,812,631	△ 1,913,847					
<u> </u>									
企業債残高 17,608,429 1	6,800,583	15, 682, 155	15, 119, 393	15, 327, 189					
WARRANT HAVE A COLOR OF THE ACTION OF THE AC			=						
営業運転資金に充てるための借入金残高 970,000	1, 100, 000	1, 150, 000	1, 170, 000	870,000					
資金残高 124,060	125, 622	125, 792	128, 478	129, 626					

財政収支のまとめ

営業運転資金に充てるための借入金残高が令和2年度(2020年度)末で6億7千万円となり、令和3年度(2021年度)に更に3億円の借入を予定しています。現在の下水道事業会計は、借入に依存して事業を続けている状態です。計画期間前期において毎年度5億円前後の経常利益が生じているにもかかわらず資金不足に陥っている理由は、企業債償還金が経営を圧迫しているためです。しかし、企業債償還金は年々減少しており、平成28年度(2016年度)に約27億円あった企業債償還金は、計画期間後期の最終年度である令和7年度(2025年度)には約19億円まで減少する見込みです。これにより資金的に余裕が生じ、令和7年度(2025年度)に借入金のうち3億円を、令和8年度(2026年度)から令和10年度(2028年度)までに残額8億7,000万円を返済し、借入により事業を続けている状態を解消できると見込んでいます。

ただし、この見込みは、他会計補助金 (一般会計からの補助金)を令和4年度 (2022年度)以降も一定額受け取ることができるとした場合の見込みです。平成18年 (2006年)2月に当時の宝塚市下水道事業運営審議会から「資本費に対する公費負担は現行より逓減する方向で更に段階的に見直すべき」との答申が出されていることから、財政状況に応じて他会計補助金の水準は見直すべきですが、見直しの内容によっては下水道事業の経営に大きく影響します。

用語の説明))

資本費・・・減価償却費と支払利息の合計額

他会計補助金・・・下水道使用料の高騰を抑える目的で一般会計から受け取っている 補助金

第 6 章 下水道使用料のあり方検討

経営戦略において、「令和元年度(2019年度)以降資金不足となる状況や、2015年3月25日の宝塚市上下水道事業審議会答申、平成28年度(2016年度)の使用料改定の経過及び社会情勢、経営状況等の変化を踏まえ、平成30年度(2018年度)に下水道使用料の改定を慎重に検討することとします」と記載しています。

平成29年度(2017年度)及び平成30年度(2018年度)において5億円を超える経常利益が生じたため、平成30年度(2018年度)・令和元年度(2019年度)・令和2年度(2020年度)の下水道使用料の改定は見送りました。今後も経営状況や一般会計からの補助金の状況、これまでの審議会からの答申などを十分考慮し、下水道使用料のあり方について検討していきます。

用語の説明

宝塚市上下水道事業審議会

・・水道事業及び下水道事業の運営について重要な事項を調査、審議する付属機関

第7章 今後の課題

今後、人口の減少により有収水量が減少し、下水道使用料収入も減少するため、令和50年度(2068年度)の下水道使用料収入は令和元年度(2019年度)と比較して約9億円減少する見込みです。それに対して、費用は昭和55年(1980年)前後に実施した大規模開発に係る管渠等が法定耐用年数を迎えることから、期間の途中まで減価償却費は減少しますが、老朽化資産の更新により、その後は増加します。令和元年度(2019年度)に約21億円ある減価償却費は、令和29年度(2047年度)には約12億円まで減少し、その後増加して、令和50年度(2068年度)には約14億円となります。

ただし、この予測には、現在進めている予防保全に重点をおいたストックマネジメントに関する支出が盛り込まれていません。今後、ストックマネジメントに関する支出を見込む予定であり、それにより将来の建設改良費が大きく変わる可能性があります。建設改良費が変動すれば、企業債に係る支払利息や減価償却費も変動します。よって、今後の詳細な経営予測は、ストックマネジメントの結果を待つ必要があります。

用語の説明

有収水量・・・使用料徴収の対象となる水量

企業債・・・・下水道施設の建設等に充てるために借り入れる借入金

減価償却費・・資産の取得に要した額を使用できる期間に配分した費用

ストックマネジメント・・下水道施設を有効に活用して長寿命化を図る体系的な手法